

令和7年度上半期

財政状況

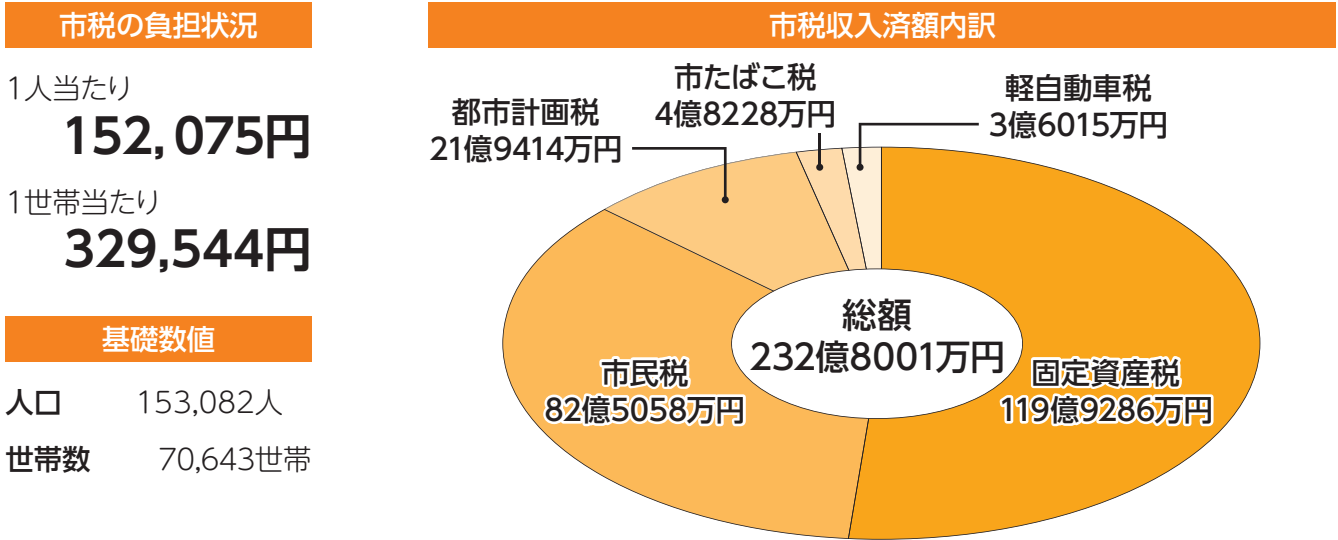
(9月30日現在)

問財務課（☎62-1006）ID1017741

市では毎年6月と12月に、税金がどのように使われたかをお知らせするため、一般会計、特別会計、企業会計の財政状況を公表しています。

※市HPに用語に関する解説を掲載しています。

※各項目は、一部端数調整したものを除いて、表示単位未満を四捨五入しています。



市債の状況

◆一般会計

借入目的	現在高
総務債	7億1524万円
民生債	15億1548万円
衛生債	4973万円
土木・公営住宅債	13億6857万円
教育債	62億7931万円
その他	2億9881万円
計	102億2714万円

◆企業会計

会計区分	現在高
水道事業	39億3721万円
下水道事業	139億7463万円
計	179億1184万円

健全化判断比率・資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき、地方公共団体は毎年度、財政状況をチェックするため健全化判断比率を示す4つの指標と公営企業の資金不足比率を算定し、公表することとなっています。そこで、市の6年度決算に基づく状況をお知らせします。

◆健全化判断比率

(単位：％)

指標名	刈谷市	早期健全化基準
実質赤字比率	－	11.39
連結実質赤字比率	－	16.39
実質公債費比率	△ 1.0	25.0
将来負担比率	－	350.0

◆資金不足比率

(単位：％)

公営企業会計名	刈谷市	経営健全化基準
水道事業会計	－	20.0
下水道事業会計	－	
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業特別会計	－	
刈谷野田北部土地区画整理事業特別会計	－	

実質赤字比率

一般会計などが黒字か赤字かを示す指標

連結実質赤字比率

全会計で見た場合の黒字か赤字かを示す指標

実質公債費比率

一般会計などが負担する公債費の比率を示す指標

将来負担比率

一般会計などが将来負担すべき負債の比率を示す指標

早期健全化基準

財政健全化への取組が必要となる基準値

資金不足比率

企業の経営が黒字か赤字かを示す指標

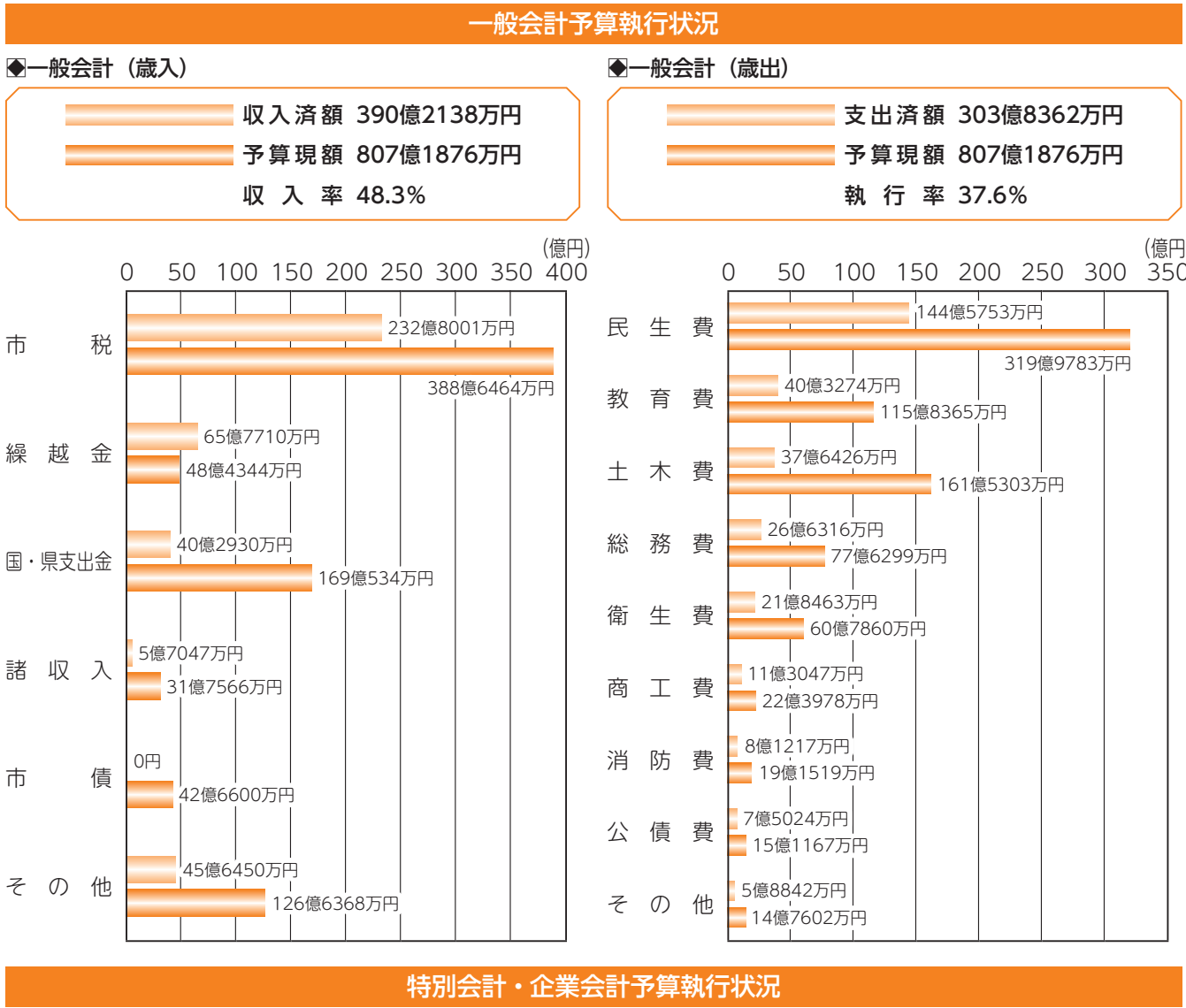
経営健全化基準

財政健全化への取組が必要となる基準値

表中の「－」は、実質的な赤字、将来負担、資金不足が発生していないことを表しています。

表中の「△1.0」は、返済に対して、返済に充てる財源の額が上回っているため、マイナスとなっています。

総評・・・全ての指標で基準を下回り、財政状況は健全であると言えます。



特別会計・企業会計予算執行状況

◆特別会計

会計区分	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
刈谷小垣江駅東部土地区画整理事業	6億2133万円	6億7086万円	108.0%	902万円	1.5%
刈谷野田北部土地区画整理事業	6684万円	6945万円	103.9%	1718万円	25.7%
国民健康保険	116億7884万円	46億4182万円	39.7%	43億1314万円	36.9%
後期高齢者医療	26億1002万円	9億4480万円	36.2%	6億170万円	23.1%
介護保険	107億3819万円	53億3196万円	49.7%	42億961万円	39.2%

◆企業会計

区分			予算現額	執行額	執行率
水道事業	収益的	収入	28億9586万円	11億5056万円	39.7%
		支出	29億8269万円	7億3413万円	24.6%
	資本的	収入	10億6835万円	3297万円	3.1%
		支出	22億5115万円	3億6084万円	16.0%
下水道事業	収益的	収入	38億8989万円	15億1544万円	39.0%
		支出	38億8985万円	6億2474万円	16.1%
	資本的	収入	26億3414万円	6億4821万円	24.6%
		支出	37億730万円	18億8146万円	50.8%

